

# 伊奈町総務建設産業常任委員会

令和5年12月1日（金曜日）

埼玉県伊奈町議会

1. 招集年月日

令和5年12月1日（金）

2. 場所

全員協議会室

3. 開会・閉会等時刻

◎開会 午前 9時00分  
・休憩 午前 9時01分  
・再開 午前 9時55分  
・休憩 午前 10時09分  
・再開 午前 10時10分  
・休憩 午前 10時24分  
・再開 午前 10時24分  
◎閉会 午前 10時29分

4. 出席委員名

委員長 武藤倫雄

副委員長 大野興一

委員 川内雅人、木俣美千代、高橋まゆみ、大沢淳、佐藤弘一、青木久男

5. 欠席委員氏名

委員 なし

6. 職務のため出席した事務局職員の職・氏名

事務局長 大津真琴、局長補佐 釵持潤子

7. 説明のため出席した者の職・氏名

町長 大島 清

副町長 関口大樹

教育長 高瀬 浩

企画総務統括監 石田勝夫、くらし産業統括監 久木正、健康福祉統括監 増田喜一、都市建設統括監 安田昌利、企画課長 秋山雄一、企画課主幹 猪俣範綱、総務課長 森田範仁、住民課長 細田富美子、社会福祉課長 影山歩、いきいき長寿課長 小林薫子、子育て支援課長 秋元和彦、健康増進課長 白坂清美、土木課長 元気まちづくり課長 斉藤雅之、本多史訓、都市計画課長 渡邊研一、DX推進・新庁舎整備室長 澤田勝

開会 午前 9時00分

○武藤倫雄委員長 おはようございます。

本日、町民の方から本委員会を傍聴したい旨の申出は今のところありません。伊奈町議会委員会条例第17条の規定に基づき、申出があった場合は許可したいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○武藤倫雄委員長 異議なしと認め、申出があった場合は許可することに決定します。

それでは、ただいまから総務建設産業常任委員会を開会します。

ここで、付託されました案件の審査に入る前に休憩して、関係する現地の視察を行います。これより休憩いたします。

休憩 午前 9時01分

再開 午前 9時55分

○武藤倫雄委員長 ただいまから再開いたします。

審査に入る前に、大島町長からご挨拶をいただきたいと思います。

○大島 清町長 改めまして、おはようございます。

今日は総務建設産業常任委員会、開会をいただきまして、ありがとうございます。

委員会の前に視察をしていただきました。今一生懸命やっていたいております第1調整池でございますけれども、現況のとおりであります。私が若干気になったのは、あそこに魚もたくさんいっぱいいたかと思っておりますけれども、どうしたのという話を聞いたら、綾瀬川に返しました、ああ、それはよかったねというそんな話をさせていただいたところであります。小さな魚は、死んじゃったのもいましたけれども、大きな魚は、返したということでありましたので、よかったなと思っていますところであります。

今日は委員会では3議案を提案させていただきました。3議案ともご承認いただき、ご了解賜りますように、よろしく願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願い申し上げます。

○武藤倫雄委員長 当委員会に付託された案件は、議案3件であります。これらを議題とします。

なお、本会議における提案説明並びに自宅での審査期間もありましたので、直ちに審査に入ります。

初めに、第69号議案 令和5年度伊奈町一般会計補正予算（第6号）の所管事項について質疑を行います。

5ページの継続費補正、6ページの債務負担行為補正及び9ページの歳入全般について、質疑はありませんか。

大沢委員。

○大沢 淳委員 5ページの継続費の各年度の内訳を教えてください。

○武藤倫雄委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○澤田 勝DX推進・新庁舎整備室長 各年度の内訳ということでご説明させていただきたいと思います。

まず、令和5年度につきましては、支出はございません。

令和6年度につきましては、基本設計と実施設計の金額です。基本設計につきましては9,600万6,000円、実施設計につきましては、実施設計の一部ということで2,595万7,000円となっております。

令和7年度におきましては、実施設計の残りの分という形で2億3,361万3,000円。続きまして、新庁舎の建設の金額、こちらが9億6,899万8,000円、庁舎の施工監理にかかる施工監理費が1,787万2,000円となっております。

令和8年度におきましては、新庁舎の建設にかかる金額が29億699万4,000円、その庁舎の施工監理にかかる部分が5,361万6,000円。

令和9年度におきましては、新庁舎の建設にかかる建設費、こちらが4億8,449万9,000円、外構工事が1億456万4,000円、新庁舎にかかる施工監理費、こちらが893万6,000円、別棟の工事費が9,241万2,000円、こちらの別棟の工事にかかる施工監理費につきまして、こちらが71万5,000円、解体工事の一部が入ってまいりますので、こちらが1億9,715万円。

令和10年度におきましては、庁舎の建設にかかる部分、こちら残額分という形になりますが4億8,449万9,000円、こちらにかかる施工監理費が893万6,000円、外構工事、こちらが2億525万4,000円、別棟工事が1億8,140万円、こちら別棟工事にかかる施工監理費が140万3,000円、解体工事費にかかる費用が2,190万6,000円となっております。

以上です。

○武藤倫雄委員長 大沢委員。

○大沢 淳委員 庁舎建設にかかる費用は、基本設計によって変更になるという理解でよろしいでしょうか。

○武藤倫雄委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○澤田 勝DX推進・新庁舎整備室長 そのとおりでございます。

○武藤倫雄委員長 大沢委員。

○大沢 淳委員 次に、各年度の財源内訳を教えてください。

○武藤倫雄委員長 企画課長。

○秋山雄一企画課長 まだ契約してないので、あくまで予算段階の大まかなめどでございます。

令和6年度分は、全て一般財源。令和7年度、ほぼ全て約12億2,000万円ほど起債、そのほか一般財源。令和8年度、約29億6,000万円を起債、残ったものが一般財源。令和9年度、約1億9,700万円ほど起債、あと、約4億8,000万円ほど基金の繰入金、残った約2億1,000万円が一般財源。令和10年度、約7億1,000万円基金からの繰入金、残ったものは一般財源という、あくまで想定のものでありますが、そういったことを予定しております。

以上でございます。

○武藤倫雄委員長 大沢委員。

○大沢 淳委員 起債以外に国からの財源は何か検討していますか。

○武藤倫雄委員長 企画課長。

○秋山雄一企画課長 現在のところ財源内訳の中に組み込んではおりませんが、いろんな補助のメニュー、もしくは新たな財源が呼び込めるようなものを、新庁舎整備室とこの事業を進めながら併せて検討している最中でございます。

以上でございます。

○武藤倫雄委員長 大沢委員。

○大沢 淳委員 今ある制度では、使えるものはありますか。国土強靱化とかに関わるようなたぐいの。

○武藤倫雄委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○澤田 勝DX推進・新庁舎整備室長 確実にもらえるというものは、今のところなかなか難しいのかなと思っておりますが、いろいろと国・県と相談しながら、なるべく該当できそうなものにつきましては該当させていきたいというふうに思っておりますが、今のところ、これが該当しますよとぴたり当てはまるものはないような状況でございます。

以上です。

○武藤倫雄委員長 大沢委員。

○大沢 淳委員 起債の充当率と、それから、後年度償還の際の交付税の参入の割合を教えてください。

○武藤倫雄委員長 企画課長。

○秋山雄一企画課長 起債は、ほぼ一般事業債を予定しておりますので、交付税の参入率のあるものの起債ではございません。

以上でございます。

○武藤倫雄委員長 大沢委員。

○大沢 淳委員 そうしたメニューはないですか。

○武藤倫雄委員長 企画課長。

○秋山雄一企画課長 いろいろなメニューを今も探しておりますが、現在のところ見当たりませんでした。それと、財務省にもいろいろ問合せをしております、新しいメニューなどがあつたら情報提供をお願いしますということで、財務省にもいろいろお願いしているところです。

以上です。

○武藤倫雄委員長 大沢委員。

○大沢 淳委員 以上です。

○武藤倫雄委員長 ほかに質疑はございませんか。

青木委員。

○青木久男委員 今の話に関連しまして起債ですね、庁舎ですから何十年も先まで使えるということで将来の人たちにも負担をお願いすると、当然のことなんですけれども、何年物1本というんじゃないんでしょうけれども、起債の年数ほどのぐらいになっているのか、お伺いします。

○武藤倫雄委員長 企画課長。

○秋山雄一企画課長 まだ決定ではないんですが、約25年から30年償還という形、あと、起債も契約単位になりますので、分割するというふうに今のところは想定しています。

以上です。

○武藤倫雄委員長 青木委員。

○青木久男委員 まとめてじゃなくて、その都度というのも入ってくるんだということですね。それで、こういう庁舎等の建設について、一般財源もところどころ先ほどの話ですと入っ

ておるわけなんですけれども、このところ、一般財源と起債の割合はどのぐらいにするかとかというようなものはないのでしょうか。

○武藤倫雄委員長 企画課長。

○秋山雄一企画課長 今回の全体の内訳でいきますと、約7割が起債、約2割が基金繰入金、残った分が一般財源、大まかに言うとそういう財源配分になっております。その他の広域ごみですとか消防、新しい事業などいろいろ取組をするですとか、今後の財政出動のことも鑑みまして、全て起債や基金で賄うわけではございませんので、将来のことも考えながら約1割程度ということで一般財源を充てているような状況です。

○武藤倫雄委員長 青木委員。

○青木久男委員 全体から見て1割ですと6億円ぐらいということですね。この6、7、8、9、10、5年度分ありますので、年度で割ってみるとそんな金額でもないのかなと思います。それで、基金からの繰入金というのは、これは何かあれでしょうか、一般財源と言えば一般財源なんですけれども、先ほど一般財源と分けて話がありましたけれども、意味があるんですか。

○武藤倫雄委員長 企画課長。

○秋山雄一企画課長 現在公共施設整備基金がございますので、そちらから充てたいなと思っています。

以上でございます。

○青木久男委員 はい、分かりました。そういうのがあったということ、ちょっと失念しました。どうもありがとうございました。

○武藤倫雄委員長 よろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。

[発言する人なし]

○武藤倫雄委員長 質疑がありませんので、次に移ります。

続いて、歳出に対する質疑に移ります。

13ページの第6款商工費について、質疑はありませんか。

[発言する人なし]

○武藤倫雄委員長 質疑がありませんので、次に移ります。

14ページから23ページまでの給与費明細書について、質疑はありませんか。

[発言する人なし]

○武藤倫雄委員長 質疑がありませんので、質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

第69号議案のうち所管事項に対する反対意見の発言を許します。

〔発言する人なし〕

○武藤倫雄委員長 次に、賛成意見の発言を許します。

〔発言する人なし〕

○武藤倫雄委員長 発言がありませんので、討論を終わります。

これより採決を行います。

第69号議案 令和5年度伊奈町一般会計補正予算（第6号）のうち所管事項について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○武藤倫雄委員長 起立全員です。

よって、第69号議案のうち所管事項について、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

暫時休憩します。

休憩 午前10時09分

再開 午前10時10分

○武藤倫雄委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、第72号議案 伊奈町災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例の質疑を行います。

質疑はありますか。

〔発言する人なし〕

○武藤倫雄委員長 質疑がありませんので、質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

本案に対する反対意見の発言を許します。

〔発言する人なし〕

○武藤倫雄委員長 次に、賛成意見の発言を許します。



〔発言する人なし〕

○武藤倫雄委員長 発言がありませんので、討論を終わります。

これより採決を行います。

第72号議案 伊奈町災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例を、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○武藤倫雄委員長 起立全員であります。

よって、第72号議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、第75号議案 工事請負契約の一部変更について（第1調整池浚渫工事）の質疑を行います。

質疑はありませんか。

青木委員。

○青木久男委員 9月議会で議決したこの入札案件なんですけれども、3か月もたたないうちに契約更改というような形になってしまったのは、私としては異例のことかなと思うんです。その金額も当初の落札価格の20%ぐらいアップになるということで、これは最初の段階でそこら辺予定できなかったのかなと単純な思いでいっぱいなんですけれども、このようになった経過をお願いいたします。

○武藤倫雄委員長 土木課長。

○本多史訓土木課長 このような経過になった原因でございますけれども、先ほどお話ししたようにしゅんせつ土の処分にかかる費用が大幅に上がったということです。その要因が、主な要因なんですけれども、それについては建設資源広域利用センター、いわゆるUCRで再利用していただくと工事間利用ということで工事現場から工事現場に直接搬入できるため非常に安い額で搬出することができるんですけれども、そのUCRに出すことを当初から予定をしております、UCRには、こういう予定があるので搬入することになりますのでお願いしますよぐらいな話をして、令和5年度についても4月にまた、今年度本工事の着工予定になっておりますのでよろしく申し上げますというようなやり取りはさせていただいておりました。

それで、今年の9月20日に議決をいただいた翌日にUCRに確認したところ、受入地がいっぱいになって受入れすることができないというお話をいただきましたので残念ながらこういう結果になったんですけれども、本来であれば、あらかじめ確約みたいなものが取れば

いいんですけれども、工事間利用ということで実際の現場が必要な分だけ受けて、いっぱいになればもう受入れできないというのがUCRの受入れの条件でございまして、今回このような増額変更になったものと考えてございます。

以上でございます。

○武藤倫雄委員長 青木委員。

○青木久男委員 先ほど話があったようにというのは、先ほど視察した現場での話なんですけれども、もう少し当初の搬出土の計画予算が幾らであったのか、それで結局プラスマイナス2,000万円ほどプラスになるんですけれども、そこら辺の金額の出入りをもう一度お願いいたします。

○武藤倫雄委員長 土木課長。

○本多史訓土木課長 先ほどの説明の繰り返しになるんですけれども、当初UCRですと工事間利用なので1立米当たり450円で受入れしてもらうことが可能であったんですが、それがもう民間の受入先に変更になりますので、どうしても工事現場から工事現場ということではなく1回どこかのストックヤード等に置いて、そこでまた業者のほうで必要な受入地にそれなりの処理をして持っていくということで金額は上がってくるような形になります。今回町内の業者なんですけれども、1立米当たり450円から8,400円に処分費が上がるというような形でございます。そういったことで、処分費については、総額で当初の設計より4,800万円ほど増額になりまして、UCRの受入地は加須、羽生、久喜等を想定して31.5キロ以内ということで運搬費を設計していたんですけれども、そちらが町内ということで4キロ以内ということで、運搬費で約2,000万円減額になり、差し引き増額になるものでございます。

以上でございます。

○武藤倫雄委員長 青木委員。

○青木久男委員 そうして話を聞きながら見ると、この契約の変更額約2,600万円ですけれども、プラスマイナスそれだけオーバーになると。ここで契約変更の議案が出てきたということですね。

こういうような大切な残土の処分について、これは受託業者がやる話かなと思うんですけれども、そこら辺は受託業者から町は詳細を聞いて今の話があるんでしょうか。それとも、町で先にそっちを確約もなくやってしまったということなんでしょうか、どちらなんですか。

○武藤倫雄委員長 土木課長。

○本多史訓土木課長 受入地につきましては、当初の入札の段階の特記仕様書にUCRで31.5

キロ以内というふうに町で条件を指定しておりましたので。また、町で受入先を探そうということで、4社ほど見積りを取りまして安価なところに決めたものでございます。その間、請負業者ともこのぐらいの距離なら搬出先としてどうだとかいろんな話を伺った中で、ちょうどたまたま町内の業者が見つかったというところでございます。

以上でございます。

○武藤倫雄委員長 青木委員。

○青木久男委員 建設工事受注会社ですね、そこが全て残土の処分とかをする契約になっていると思うんですけども、そういうのは、町が先にここを使うようにとか、そういうふうなものがあるのか入札なんですか。

○武藤倫雄委員長 土木課長。

○本多史訓土木課長 今回の入札の条件に当たりまして、特記仕様書でUCRを利用してください、かつ31.5キロ以内の受入地で搬出をお願いしますという条件が設定してありましたので。そういうことでございます。

以上でございます。

○武藤倫雄委員長 青木委員。

○青木久男委員 分かりました。町でそういうような設計で見積りを立てていたと。じゃ、町の責任も多いんですね。責任というのはちょっとあれかもしれませんが、受け入れてくれるはずのものが受け入れてくれない、困るじゃないかと、話が違うじゃないかとまで強く言えるものでもないのかなと善意に解釈しますけれども、本来ならとんでもない話だという話になると思うんですけどもね。それは、業者じゃなくて町がそういう条件で出したというんですから、町も今度から、そういう3か月もたたないうちに20%も入札価格よりも上がるような契約更改みたいなものがないように、ひとつお願いします。

ちょっと金額はいいんですけども、もう一つ、9月議会で私質問したんですけども、現場を拝見させていただいて、まだ工事前ですから30年間の堆積物がたっぷりたまっていると。それで、水面からは中央部だけ丸くおわんをひっくり返したみたいな、洗面器をひっくり返したみたいな形の土、堆積土が顔を出しているんですけども、そのところだけ土がたまりやすいのかどうか分かりませんが、せつかく掘削するんでしたら、その部分あたりを少し深く掘ったらどうかというような質問しました。答弁では、それが効果的かどうか分からないけれども、また費用の範囲内で行えるかどうか検討したいというんですけども、その後はどうなったのか、今回のついでにお伺いいたします。

○武藤倫雄委員長 土木課長。

○本多史訓土木課長 委員からご指摘あったことにつきましては、その後設計を請け負った業者に確認したところ、当初調整池を造ったときの設計が、そういった中を深く掘るような設計になっていなかったの、現況のままで掘削するのは余り好ましくないということと、真ん中だけ掘っておいてもそこは常に水がたまった状態になってしまっているの、しゅんせつ工事によってその分の貯水容量が増えたことにならないだろうというようなご意見をいただきましたので、当初の予定どおりのしゅんせつ工事を行っていきたいと考えてございます。以上でございます。

○武藤倫雄委員長 青木委員。

○青木久男委員 よく分かりました。ありがとうございます。

○武藤倫雄委員長 ほかに質疑はありませんか。

[発言する人なし]

○武藤倫雄委員長 質疑がありませんので、質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

本案に対する反対意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○武藤倫雄委員長 次に、賛成意見の発言を許します。

[発言する人なし]

○武藤倫雄委員長 発言がありませんので、討論を終わります。

これより採決を行います。

第75号議案 工事請負契約の一部変更について（第1調整池浚渫工事）について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○武藤倫雄委員長 起立全員です。

よって、第75号議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で、総務建設産業常任委員会に付託された議案の審査は全て終了しました。

ここで執行部の退席をお願いします。

暫時休憩とします。

休憩 午前10時24分

再開 午前10時24分

○武藤倫雄委員長 休憩を解いて会議を開きます。

次に、協議事項のその他に移ります。

所管事務調査の精算報告について、事務局長より報告をお願いします。  
局長。

○大津真琴事務局長 精算報告をさせていただきます。

所管事務調査、期日が令和5年10月16日、17日。

視察地が、新潟県妙高市です。

テーマが、空き家対策について。

出席者、全委員で、武藤委員長、大野副委員長、川内委員、木俣委員、高橋委員、大沢委員、佐藤委員、青木委員と私です。

収支内訳ですが、歳入歳出それぞれご説明いたします。

最初に、歳入、収入ですね。議員旅費7名分4万8,300円、職員旅費1名分6,900円。これの支出については、宿泊費5万5,200円。備考に書いてございますが、大野議員が17日に資源循環組合の議会がございましたので夕食後ご帰宅になられたので、宿泊費が7名分となっております。

次に、議員クラブから9万564円。これの内訳として、お茶代が810円、1日目のお昼代が1万2,600円、夕飯代が3万6,000円、そのときの飲み物が2万7,096円。2日目のお昼代が1万3,728円、そのときに2名、コーヒー飲まれて330円。

収入支出合計それぞれ14万5,764円でした。

次に、町の需用費3,400円、これは視察先への手土産代で3,400円。

役務費、これは当日の保険代ですね、皆さんに掛けた旅行保険代です。

使用料及び賃借料2万5,370円。内訳としまして、運転手の宿泊費が6,900円、有料道路代が1万8,470円。

合計、歳入歳出それぞれ17万6,244円でした。

以上です。

○武藤倫雄委員長 委員の皆さんから何かございますか。

大沢委員。

○大沢 淳委員 大野議員が途中で帰ったということで、帰りの交通費が自己負担になっていると思うんですが、これは制度上、公費で負担できないものなのかということの質問と、もしそれどうしてもできないのであれば、議員クラブとかから何か補填する方法がないか、ちょっと検討願いたい。今日会長もいらっしゃいますが、私身内で恐縮なんですけど、今後もうこういうパターンがないとも限らないので。

○武藤倫雄委員長 局長。

○大津真琴事務局長 まず、公費でというのはちょっと実際無理なので、できれば議員クラブで出していただければと思います。

○大沢 淳委員 議長、今後ご検討いただければ。今日すぐに結論というわけにいかないんでしょうけれども。

○佐藤弘一委員 そうですね、公務の関係もありますから、議論して、ちゃんとそれでみんなして検討します。

○武藤倫雄委員長 では、議員クラブで検討ということによろしいでしょうか。

ほかに何かございますか。

[発言する人なし]

○武藤倫雄委員長 閉会の前に、副委員長より挨拶をお願いいたします。

○大野興一副委員長 今日は大変寒い中、視察等行いまして、無事総務建設産業常任委員会の議案も3件終わりました。ありがとうございました。

○武藤倫雄委員長 これをもって閉会とします。お疲れさまでございました。

閉会 午前10時29分